

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	民間保育所運営事業	会計	一般会計	事業No.	177	施策順No.	37-023
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-2-5-10-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	民間保育所(児童福祉法により認可を受けたもの)に入所している児童						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		民間保育所数(か所)	16	20	20	21	21		
		民間保育所に入所している児童数(人)	1578	1601	1590	1835			
意図		民間保育所の安定的な運営とより充実した保育サービスの提供の促進を図る。							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		民間保育所数/民間保育所数	100	100	100	100	100	100	A
		民間保育所に入所している児童数/民間保育所入所定員数 (%)	102	102.9	103	100	101.7	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	松尾保育園の民営化により慈光松尾保育園が新設され、対象児童数が230名ほど増加した。他の民間保育所同様充実した保育サービスが提供できるよう保育所の運営費を補助している。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>・市は、就労や疾病などにより、日々家庭での保育を受けられない児童に健全な育ちを提供するとともに、家庭での子育てと就労等の両立を支援する目的で、保育サービスの充実した民間保育所へ保育サービスの提供を依頼(委託)し、家庭で保育を受けられない児童の受け入れをする。・民間保育所での保育の実施に係る費用は、保護者からの保育料負担と国・県からの補助金を財源にして市が負担しているが、3歳未満児の柔軟な受け入れや夜遅くまでの延長保育サービスなどの充実した保育サービスの提供と安定した保育所運営ができるような水準に高めている。(施設定員、職員構成、入所児童数、児童の入所日年齢などにより、国が定めている基準に準じているが、児童の年度当初の年齢により単価を設定している。)・保育サービスの充実した保育所を増やすことが、より多くの家庭の子育て支援につながるため、市内の公立保育所の民営化が進められている。</p>		
22年度事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 民間保育所に毎月運営費を支払う。	1 延べ入所児数 民間保育所運営費負担金	1 21,081人 1,299,294千円
	2 平成21年度国庫負担金確定による精算還付	2 国支出金返還金	2 993千円
23年度実施計画	民間保育所に毎月運営費を支払う。	延べ入所児数 民間保育所運営費負担金	20,850人 1,282,115千円

3 事業コスト

事業費		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)民間保育所負担金(1/2)386,680千円 (県)民間保育所負担金(1/4)191,310千円 (県)保育所分園推進事業補助金(国1/3、県1/3)1,600千円 (そ)民間保育所保護者負担金368,343千円
	特定財源	国庫支出金	382,774	386,680	375,574	
	起債	県支出金	192,987	192,910	189,387	
	その他					
	一般財源	その他	373,547	368,343	371,724	
		一般財源	356,691	352,353	345,430	
	計(A)	1,305,999	1,300,286	1,282,115		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B		1,300,286			

4 事業に対する市民や議会の意見

サービスの充実と児童の柔軟な受け入れ、民間保育所の安定経営が求められている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを育てやすい社会環境の充実	施策の成果指標又はムツ指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	運営費の補助をすることで民間保育所が健全に運営され、充実した保育サービスが提供されている。このことにより保育に欠ける児童も十分な保育環境にあり、保護者への子育てと仕事等の両立の支援となっている。		
	後期に向けた課題	不安定な社会経済の中で、保育所のニーズがさらに増加すると予想される。引き続き運営費の補助を行い民間保育所の健全な運営と保育サービスの充実を図る。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	国の基準により定められた保育単価(保育所の定員及び入所児童の年齢により、保育所運営に必要とされる費用)に準じて支払っているため、向上の余地はない。		
	後期に向けた課題	国の基準により定められた保育単価(保育所の定員及び入所児童の年齢により、保育所運営に必要とされる費用)に準じて支払っているため、向上の余地はない。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	事業費の削減は、民間保育所の安定経営を妨げる可能性が高く、経営が不安定になることでサービスや保育の質が低下することが懸念される。		
	後期に向けた課題	事業費の削減は、民間保育所の安定経営を妨げる可能性が高く、経営が不安定になることでサービスや保育の質が低下することが懸念される。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	児童福祉法により、保育の実施は市町村長の責任とされている。補助事業であり、受益者負担を求めるものではない。		
	後期に向けた課題	児童福祉法により、保育の実施は市町村長の責任とされている。補助事業であり、受益者負担を求めるものではない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	飯田市(市町村)の主体事業である。 民間保育所の安定的な運営とより充実した保育サービスの提供を促進するための費用負担。		
	後期に向けた課題	飯田市(市町村)の主体事業である。 民間保育所の安定的な運営とより充実した保育サービスの提供を促進するための費用負担。		
全体を通じて	4年間の振り返り	認定こども園保育園の開設、松尾保育園の民営化による慈光松尾保育園の新設等で、対象となる民間保育所及び入所児童は段階的に増加しており、民間保育所への補助金額も年々増加している。		
	後期に向けた課題	不安定な社会経済、生活様態の多様化等により、今後さらに保育サービスの充実した民間保育所のニーズが高まると予想される。引き続き同様の運営費の補助を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------